

参加
無料

定員に限りがございますので、
事前にお申込みください。

『地域の知の拠点再生による地域活性化フォーラム』

～ 地域の雇用創出のための知の拠点再生推進方策検討 ～

我が国の活力の源泉である地域の再生、持続的な発展を図るためには、地域の担い手づくりが重要であり、地域の知識・人材が集積する大学は重要な拠点であります。平成18年2月に、大学と連携する地域づくりを支援する省庁間連携の取組みとして、『地域の知の拠点再生プログラム』が地域再生本部で決定され、地域の取組みに関する支援措置や大学等と連携した地域の取組みを推進するための環境整備が実施されています。また、現在検討が進められている国土形成計画においても、産官学連携による新産業の創出など地域への研究成果の還元や、大学の知的・人的資源を活用した地域振興など、地域と連携する大学には中核的な役割が期待されています。

本フォーラムでは、地域の知の拠点である大学の研究等を活用した地域づくりのあり方や、大学と地域で活動する様々な活動主体との連携の仕組みづくり、地域再生の主要テーマである地域の雇用創出のための知の拠点再生推進方策などについて、各地の事例や有識者のご議論を通じて知見を得ます。

日 時

2007年3月13日(火)

14:00～17:30

(開場 13:30)

会 場

ホテルルポール麹町

東京都千代田区平河町 2-4-3

(Tel: 03-3265-5361)

MAP



東京メトロ有楽町線麹町駅1番出口より徒歩3分 /
東京駅より約15分

主催：国土交通省

【プログラム】

第一部：基調講演（14：05～14：50）

『(仮称)地域と知の拠点との連携による地域活性化に向けて』

講師：伊藤 滋氏（早稲田大学教授）

1931年生まれ。東京大学農学部 工学部卒業。2000年から慶應義塾大学大学院客員教授、2002年から早稲田大学教授。都市計画中央審議会会長、国土審議会委員、内閣官房都市再生戦略チーム座長等を歴任。財団法人国土計画協会会長を務める。専門分野は、国土及び都市計画、都市防災。主な著書に、「提言・都市創造」「人間・都市・未来を考える」「市民参加の都市計画」など。

第二部：地域と大学との連携による地域活性化事例発表（14：50～15：50）

地域と大学とが連携して、地域活性化に取り組んでいる地域の方や大学の先生に、大学との連携による地域づくりのきっかけや具体的な取組み内容についてお話をいただきます。

長野県須坂市 + 信州大学『ハイブリッド電動アシスト三輪自転車の開発と地域活性化に向けての取組み』 発表者：中沢啓明氏（信州須坂ものづくりプロジェクト副代表世話人）

高知県大豊町 + 高知大学『碁石茶のブランド化による地域活性化の取組み』
発表者：受田浩之氏（国立大学法人高知大学国際・地域連携センター長）

青森県青森市 + 弘前大学『ナマコの食ブランド化に向けた地域と大学との連携取組み』
発表者：渋谷長生氏（弘前大学農学生命科学部教授）

第三部：パネルディスカッション（16：00～17：30）

知の拠点再生による地域づくりを推進する上での仕組みづくりや方策などについて、学識経験者や事例発表者に話し合ってください。

コーディネーター：妹尾 大氏（東京工業大学大学院社会理工学研究科経営工学専攻助教授）

パネリスト：受田浩之氏（国立大学法人高知大学国際・地域連携センター長）

渋谷長生氏（弘前大学農学生命科学部教授）

高津定弘氏（独立行政法人労働政策研究・研修機構常任参与）

玉田 樹氏（元野村総合研究所理事）

（五十音順）

【参加申込書】

地域の知の拠点による地域活性化フォーラム

FAX送付先：03-3503-7429（本用紙をファックスにて左記までお送りください）

メールアドレス：sympo-c@kok.or.jp（メールでも申し込むことができます）

申込締切 平成18年3月12日

お名前（代表者）

参加人数（ ）名

企業名・団体名

電話番号

（ ）

FAX番号

（ ）

メールアドレス

@

定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

記載いただいた個人情報、本フォーラムの連絡のみに利用し、それ以外の目的では利用いたしません。

事務局：財団法人国土計画協会（担当：福田） TEL：03-3503-7427 FAX：03-3503-7429